

## 「清沢てんぐの会」の蕎麦打ちに参加しました。

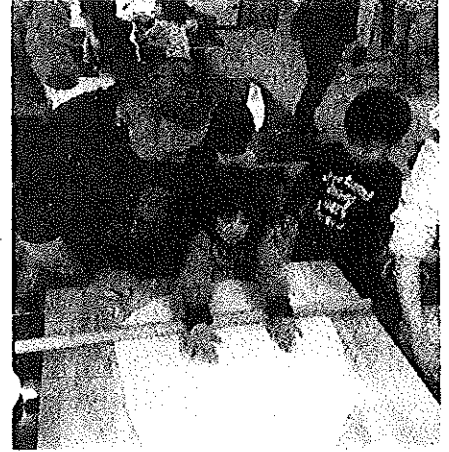
平成27年度の母親合同講演会で「清沢てんぐの会」のことが知り、活動に参加してみたい、詳しく知りたいという声もありましたので、平成28年度は「てんぐの会」の蕎麦打ちにおじゃまさせていただきました。

小学生OB(中学生)と保護者OBもあわせて約50人(幼児～中学生26人)、蕎麦打ちの講師の方5名と久能尾公民館でおこないました。

そば粉につなぎ粉をいれて水でかためていく…この工程は粘土みたいでみんなで楽しくやりました。よく見ていると「水の入れすぎはだめ」「1箇所にいれないほうがいい」など上級生が下級生の面倒をみている姿もありました。

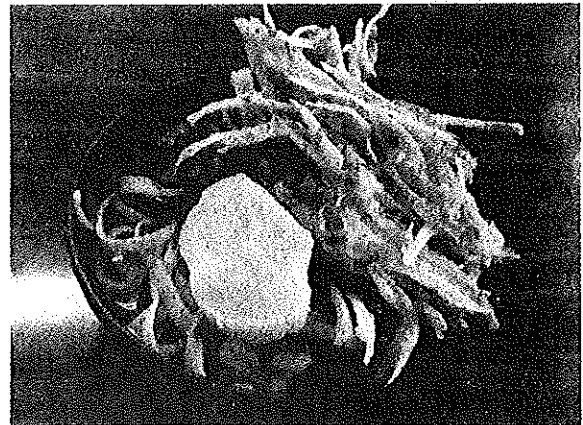
のばしていくのは最初は「ピザみたい」と楽しんでいたのに、うすくなるにつれて大人も真剣になります。

そしてたんで細く切る…うまく切れたと思っても斜めになったりつながらないようにするには力もいれなければならず、なかなか大変でした。もしかしら経験の多い「てんぐの会」の子どものほうが上手だったかもしれません。



蕎麦打ちをがんばっている横では「てんぐの会」のお母様方が3種類のかき揚げやつゆを作ってくれたり、食べる場所をささっと用意をしてくれ、縁の下で支えてくれている方の活動も見ることができました。

みんなで協力して作ったお蕎麦をおかわりもたくさんしておいしくいただきました。



食後は蕎麦打ちの先生が「蓄音機」を聞かせてくれました。電気を使わないレコードの音をみんな真剣に聞いていました。

「てんぐの会」の活動は広報誌や清沢小学校のHPで見ることができます。

是非ご覧ください。今回はおじゃまさせていただき、ありがとうございました。